

科名 外科

対象疾患名 BRAF陽性の治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸癌

プロトコール名 BEV+FOLFOXIRI(アロカリス併用)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	...	14
1	CVポート	メイン3-①	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓			
3	CVポート	側管②	パロノセトロンバッグ アロカリス デキサート	0.75mg 235mg 9.9mg	30分かけて	↓			
4	CVポート	側管③	ベバシズマブ注 生理食塩水	5mg/kg 100mL	医師の指示通り	↓			
5	CVポート	側管④	カンプト注 生理食塩液	165mg/m ² 250mL	2時間かけて	↓			
6	CVポート	メイン3-②	レボホリナート注 生理食塩液	200mg/m ² 250mL	2時間かけて	↓			
7	CVポート	側管⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖	85mg/m ² 250mL	2時間かけて	↓			
8	CVポート	メイン3-③	フルオロウラシル 生理食塩液	3200mg/m ² mL [※]	48時間持続静注 バクスターインフューザーSV2.5	↓			

※生理食塩液の量はフルオロウラシルの量により決定する。

1クール=14日

～MEMO～

12コースまで。以降はベバシズマブとフルオロウラシルのみ継続

催吐レベル4(90%以上)

day2-4にデカドロン朝、昼食後に1回4mg(8錠)を内服する。

＜ベバシズマブ＞

創傷治癒遅延の作用により術後28日以内の投与不可口

投与速度:初回90分,忍容性良好であれば60分,30分まで短縮可

投与期間中は投与回数が増えるほど高血圧の出現頻度が高くなるため定期的に血圧を測定すること。

＜オキサリプラチン＞

オキサリプラチンは必ず5%ブドウ糖で希釈。(薬効がおちる。)

オキサリプラチンのアレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。(現在は

4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)